



ほけんだより4月号

令和6年度 社会福祉法人 栗石保育園 保健室



ご入園・ご進級おめでとうございます!!

新しいお友達が増え新年度を迎えることができました。ひとつ大きくなったという喜びいっぱいの笑顔に出会うことができ、とてもうれしく思います。子どもたちも新しい生活におけてときどき、わくわく、ちょっぴり緊張という感じでしょうか。今年も子どもたちが健やかに園生活を送ることができますようサポートさせていただきます。看護師の袖林典子です。園生活の中で体調面等気になることがありましたら気軽に声をかけていただけたらと思っています。今年もほけんだよりを通して保健に関する情報も発信していきますのでよろしくお願いいたします。



園で預かるお薬について

- 1 主治医が処方したものに限り、さらに、処方を受けた直近のものになります。市販薬はお預かりできません。
- 2 水薬(シロップ)は1メモリ分を別の容器(薬の空き容器、お弁当のソース入れなど)にうつし、粉薬は1包に必ず名前を書いてジップロック(18cm×20cm程度のもの)にひとり分ずつ入れてお持ちください。



1メモリ分
を移す➡



容器、薬にも
名前を書く



- 3 処方を受けた際は、必ず薬の連絡票を記入の上、お薬の内容が分かるように薬剤情報提供書または、お薬手帳を添えて提出をお願いいたします。(一部コピーを取ってお返しします。)
- 4 持参した薬は玄関のおがーの下にある箱に入れ、玄関の保育士に「薬を入れました」と声をかけてください。かばんの中に入れてきたままですと内服できないことがあります。
- 5 解熱剤、吐き気止め、けいれん止めの座薬はお預かりできません。(熱性けいれんの既往のあるお子様はお申し出ください)
- 6 その他アトピー性皮膚炎(軟膏)や食物アレルギー(食前薬)、喘息、目の治療(点眼)等で長期(7日以上)にわたりお薬が必要な方は長期用の薬の連絡票がありますのでお申し出ください。
- 7 ご不明な点がありましたら看護師まで声をかけてください。



発熱・嘔吐下痢などの症状が出た後の登園について

新年度が始まり、子どもたちも緊張した生活を送っていると疲れが出て、発熱や腹痛を訴えることがあります。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など熱・嘔吐・下痢の原因になる疾患はたくさんあります。これらの症状が一つでもあった場合は、主治医と相談し、24時間は自宅で様子を見ていただくようご協力をお願いいたします。特に嘔吐・下痢に関しては熱の有無にかかわらず、食事がいつも通りとれているか、便の状態が普通便になっているかを必ず確認してください。保育中にこれらの症状が出た場合は(熱性けいれんをことがあるお子さんは37.5℃)おうちの方にご連絡いたします。お休み等で緊急の連絡先が変わる場合は必ず連絡帳等でお知らせください。

